

第2号発刊にあたって

『多言語多文化—実践と研究』は、東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターの研究誌として昨年創刊され、このたび第2号を刊行することになりました。

巻頭では、2009年2月に多言語・多文化教育研究センターが主催した国際シンポジウム「トランスナショナル／トランスカルチュラルな比較地域研究」にご参加いただいた海外ゲストよりご寄稿頂いた論文2本を掲載しています。

また、投稿論文としては、今号よりあらたに設けた「実践型研究論文」を含む計6本を掲載しています。本誌では、既存の学術ジャーナルでは位置づけが困難であった「実践者による現場の記述」を真正面から取り上げることで、学術的な研究成果を現場に還元するだけでなく、実践を現場の外にひらいていくためのさまざまな方法を模索したいと考えています。今号がそのささやかな出発点となることを願います。

『多言語多文化—実践と研究』編集担当

尹 慧瑛